



2013年 6月報

Vol. 452

6月1日発行

主 題	2012-2013 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際
ク ラ ブ 主 題	会長 宮本桂子 「ワイズライフを楽しもう！」 “Let's Enjoy the Y's Life”
阪 和 部 主 題	部長 正野忠之 「元気に みんなで」 スローガン 「10年後の阪和部へ、つながる」
西 日 本 区 主 題	理事 成瀬晃三 “Let's Ysmen Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”
スローガン	“先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で” “Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!” “ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう”
アジア地域主題	地域会長 Oliver Wu (台湾) “Years bring wisdom” 「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 “Action vitalize life with strength” 「行動が活力を呼び覚ます」
スローガン	国際会長 Philip Mathai (インド) “Be the light of the world” 「世を照らす光となろう」 “Share your blessings in love” 「恵みを愛もて分かち合う」
国 際 主 題	
スローガン	

「ありがとうございました」



会長 宮本桂子

ワイズライフを楽しもう！ “Let's Enjoy the Y's Life” の会長主題を掲げさせて頂き、「今期は、今までやりたかった事に挑戦してください」とメンバーに呼びかけました。

今までと違う事をするのは、それだけパワーが必要ですし、より多くのメンバー

の協力を得なければ、為しえる事が出来ません。楽しむという事は、ただおもしろおかしくという事ではなく、達成感、充実感の裏打ちが無ければなりません。特に例会には色々工夫をしました。主だったところでは、EMC自己診断プログラム、対談形式の講話、ワールドカフェ、身体を動かすメネット例会、そして、大人なクリスマス例会と題したリッツカールトンホテルにおけるゴージャスな例会がありました。

クラブのメインプログラムである「らくらく車椅子登山」では、自分たちの力量を考え、参加される車椅子の台数を減らしましたが、リッツカールトンホテル、加美クラブ等100名以上のボランティアの参加があり、すがすがしい晴天の下、交流の場を持つ事が出来ました。

今期は、当クラブから阪和部長を輩出していますので、阪和部会のホストクラブを務めましたが、河内クラブの団結力が十分に発揮されたと思います。メンはもちろんの事、メネットの活躍に西日本区の野村メネット事業主任様から賞賛を受けました。知らない事だらけな上、難病を抱えているために体調管理が難しく、何につけても諸先輩方のご指導とご援助が無ければ、河内ワイズメンズクラブという大きな船の舵を取る事は出来ませんでした。心から、感謝申し上げます。ありがとう

【今月の聖句】 ペテロの第1の手紙 1章 24~25 節
「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。草は枯れ、花は散る。しかし主の言葉は永遠に変わることがない」



—— 年度の最終月、自己評価すれば十分なことも多かっただろう。でも、ワイズダムの心は変わらず、次期に受け継がれます ——

【6月例会プログラムご案内】

強調月間 “ 評価 計画 ”

日時：6月20日(木) 18:30~20:30

会場：サンホーム 6階

受付：中野義彦・藤井敬子さん

司会進行：岩坂正雄 君

開会点鐘：会長・宮本桂子さん

ワイズソング：— 同

聖句朗読：畠平剛志 君

ゲスト・ビジターご紹介 司会者

会長の時間：会長・宮本桂子さん

部長挨拶：阪和部部長・飯沼 眞 氏

役員交代式 & 次期役員紹介

食前感謝：岩坂正雄 君

インフォメーション 当該者

各事業委員長 活動報告 各事業委員長

IBC訪問帰朝報告 伊藤圭介 君

誕生・結婚記念日お祝い：会長・宮本桂子さん

にこにこアワー 畠平剛志 君・メネットさん

YMCAの歌 — 同

● 閉会点鐘：副会長・畠平剛志 君 ●

ございました。今期もあと少しでございますが、充実した日々を過ぎて、次にバトンタッチしたいと思います。

5 月 例 会 報 告

対話で紡ぐ震災支援活動の創出

報告：大谷美佐子

日 時：2013年5月16日（木）18：35～20：30

場 所：サンホーム 6階

出席者：メン：伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、加藤寿枝
佐古至弘、新本英二、杉村 徹、田中惟介
中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、丸尾欽造
宮本桂子、望月 強、横田憲子

メネット：伊藤玲子、大藪暢子、新本カ子、中野涌子
初田眞佐子、丸尾初子、望月治子

ビジター：松岡度一（大阪サウス）、今井利子（大阪なかのしま）

ゲストスピーカー：猪瀬正雄（大阪泉北）

以上 25名

■5月例会会場は東北の物産や岩手県大船渡、陸前高田のポスターなどで飾られ、いつもと違った雰囲気の中で開催された。

■司会・藤井敬子さんが定刻に開会を告げ、宮本会長の開会点鐘、佐古至弘メンによる聖句朗読、司会者によるビジターの紹介があった。

■会長の時間：宮本会長より4月28日に開催された河内クラブの大切な行事である「らくらく車椅子登山」の無事終了の報告とお礼を述べられた。大阪サウスクラブは「さくらんぼ」の売り上げを震災に支援するとの事、多く購入をとの呼びかけあり。司会者より今期計上されている「東北震災支援金」102、400円を例会会場にある東北の物産詰め取り寄せにて購入することの賛否があった、賛成多数で決定する。

■インフォメーション

松岡メン：「さくらんぼ」のアピール。メネット作成の「折り鶴」へのお礼。

■講演 猪瀬正雄氏

東北支援について説明あり、2011年3月末に所属教会、YMCAにて義捐金を送る。

しかし、どのように使われているか疑問に思い支援の仕方を変更する、必要な物資を先方に聞きそれを送ること「相手の顔が



見える」支援の大切さを実感した。

震災当時、連絡が取りにくい状態のため役立つようにと陸前高田市希望ヶ病院、避難所に絵葉書と切手を送る、大変喜ばれた。災害支援を個人でも受け入れてくれるところを探す、大船渡市が支援先とし現地の森さんを通し支援開始。

森さんのご主人は地元4代目の漁師、5隻の船と漁具を大津波で失い大変だった、仮設は47所帯だった。

第1回支援：マヨネーズ、トマトケチャップ、レトルト食品、缶詰を送る。反省点→一箱で送った為現場の仕分けが大変、今後種類別にすること。

第2回支援：夏物ふとんセット10組。以後国語辞典、ガムテープ、だしの素、スポーツドリンク、ふとんカバー、夏物衣料を7月の避難所が閉鎖されるまで送っていた。

泉北クラブでも支援に取り組み例会や各集まりにおいて支援を募りミカン等を送る、現地で近畿の台風を心配し連絡をくれることもあった。

森さんに「困っている事」を聞くと寒くなると水道水が冷たくて洗剤が溶けにくいとのことで液体洗剤やインスタントコーヒー、ティーバッグ、ココアを送り喜ばれた。

「東北を食べて飲んで語る会」産業が復興し、若者の場が定住するようにならないとやがて町が消えてしまう（江戸時代の古書に「亡所」と記術されているところあり）

森さんより記録映像のDVDが届く。森さんの好意で学校に寄付する。学校側はPTAも動きイベントに東北の物産を購入。その後、大阪泉北クラブより東北へ行ったり、十勝のジャガイモ・カボチャを送る。感謝の手紙とサンマが届いた。災害支援は東北の山元町や十津川にも広がっている。これからも現地との交流「支援の創出」をして行きたい、地元の人のもてなしに感動。

第1回被災地への旅 2011、6/20～23

第2回 “ 2012、3/21～23

最後に「このように支援が出来ているのも周囲の皆さんのご協力のおかげである」と卓話を締めくくられました。

「私の活動は「個人」ではなく沢山の方々に支えられてきました。だからこそ続けてこれたのです。

私は「支援のメッセンジャー・ボーイ（高齢ボーイ）」です。その一覧表を紹介するのを忘れていました」

と猪瀬 Y's から後日 協賛グループの詳細なリストが送られて来ました。恒例のニコニコ アワー、YMCA 歌斉唱あり定刻より畠平副会長の閉会点鐘によって散会。 以上



▲猪瀬さんが頒布販売されている東北物産が例会会場に並べられ、みなさんの協力で上々の売上げでした

第38期第12回役員会報告

報告者 : 大谷美佐子

日時 : 2013年5月23日(木) 19:00~20:30

場所 : 東YMCA

出席者 宮本・田中・中野・藤井・畠平・丸尾・正野
伊藤・杉村・大谷・

6月例会 6月20日(木) サンホーム

PM 18:30~20:30

C班担当 部長公式訪問 役員交代式

6月例会役割分担

司 会 岩坂 君 聖句朗読 畠平 君
食事手配 横田 さん 食前感謝 岩坂 君
ニコニコ 畠平 君 ・メネット さん
受 付 会計 中野・藤井 君
音楽担当・会計兼任

7月号ブリテン原稿

6月例会報告 中野 君
6月例会にこにこテープ起し 畠平 君
6月役員会報告 大谷 君
Yニュース 箕浦史郎 所長
サンホームニュース 杉村 徹 君
巻頭言 畠平 剛志 君

原稿最終締切は 6月 28日です

審議事項・報告・連絡事項

《審議事項》

- 6月例会 C班(丸尾委員長) ・中野・横田
畠平・岩坂・青野
丸尾C班委員長より6月例会プログラムの進行等の
確認あり。

- 次期年度計画について 畠平次期会長
下記資料に基づいて説明、審議する。
: クラブ年間行事予定表
: クラブ役員・事業委員長、プロジェクト委員長
: クラブ小委員会組織図
: 委員、班シフトシート
次期年間行事、組織等については試案が示され、修
正案が次回役員会までに示されます。

- ホームページの件 伊藤
例会出席が出来ない場合がある故このままホームペ
ージ担当委員を続ける事の是非について伊藤メンより打
診あり。
伊藤メンに引き続きお願いすること、例会の写真を
伊藤メンに提供することで決定。

《報告事項》

- 各事業委員会より報告
名称を変更、各委員会よりの報告を記載する。
今月は報告なし。
- 退会希望者の件 宮本会長
一身上の都合で退会の申し出あり受理する。
退会者・・芳澤君、加藤君
- アジアユースコンボケーションについて 杉村
リーダーが行事等重なり都合が悪く東YMCAは
参加者なし。
- 国際・区・部・における役員、事業委員の報告
・ 西日本区
正野忠之君・・・・・・Yサ、ユース主任、
EMC2000推進委員会委員
畠平剛志君・・・・・・情報委員会委員
・ 阪和部
横田憲子・・・・・・ファンド事業主査
- サンホーム「なごみ」について 杉村
ノロウイルス、インフルエンザなどの予防上、中
止になっている。「余暇の充実」と考え、試行錯
誤しているが現在入居者の体力が低下している
ため5・6月は中止。

《連絡事項》

- ロシア公式訪問
日程 6/11~6/18
会長の挨拶文を持参する。
- 西日本区大会 日程 6/22~6/23
- 阪和部評議会 日時 6/15 13:00~
- サンホーム大掃除デイ6/2(日)
10:00~13:00

以上

2012~2013年度 第2回EMC推進委員会 報告

報告 : 会長 宮本桂子

2013年5月18日(土) 13:30~16:00

大阪南YMCAライブラリーにて 参加者 : 24名

司会の挨拶に続き、正野阪和部長から挨拶があり、阪和部と
しては、5名入会があり、3名退会があったと報告がありま
した。EMC主査からは、人材育成という事で、ワイズメン
ズの説明(オリエンテーション)をしっかりとする事、新人
にも役に立つ場を設ける事で退会の防止になるという話があ
りました。その後、各クラブでの取り組みと成果を話し合い、
今期を振りかえってディスカッションが行われました。
その中で、入会者にワイズ紹介DVDがあった方が良い、何
がしたいか見えない、したい事が多くて欲張りなワイズ、活
動に疲れが出てきている、そろそろはっきりとしたビジョン
があった方が良いのでは、各クラブがうちはこれに力を入れ
ているといった形の方が訴えやすい等の意見が出ました。

阪和部長としての任期を

第24期(2012-2013年度) 阪和部部长 正野 忠之

ワイズメンズクラブとして期の変り目、6月を向かえました。阪和部としては中西部から分かれて24年目を終えようとしています。部長を経験されたみなさんが「1年、あっという間だよ」と口を揃えて話されていたように、阪和部長としての1年は、気づいたら終わろうとしています。思い起こせば、遠藤ワイズが部長をされた6年前からずっと、私は河内クラブから出させていただいて、阪和部という場所で自由にいろいろと活動をさせていただいたと思います。もちろんまだあと2年、部の役員としての責務は残りますが、ひとまず阪和部として活動をするお役目は終えることになりました。河内クラブのみなさんには、感謝の言葉以外に見つかる言葉はありません。あと1年は西日本区でお役目をいただいています、来年の7月からはホームグラウンドで会長として里帰りさせていただきます。そのときに恩返しができますよう、学びの場を増やし、河内クラブとワイズダムの発展に尽力する所存です。

ホストをしていただいた阪和部会に始まり、様々な行事に際しても、宮本会長と河内クラブのメン、メネットのみなさんにどれだけお力添えをいただいたかわかりません。阪和部長として、何ができたのか、できなかったのか、そう問うと、できなかったことの方が圧倒的に多いこの1年でしたし、自分では何の評価もできませんが、みなさんの

お支えの中で過ごした1年だと、任期を終えるにあたりまして、改めてそう感じます。

阪和部の書記として横田憲子ワイズ、会計として望月強ワイズのお力を得ました。広報事業主査として畠平剛志ワイズに



▲阪和部初代部長・新本英二さんから労いの握手を受ける正野部長

も活躍していただきました。部報の発行に際しては丸尾欽造ワイズに参加していただきました。そして、私が部長として掲げました主題に伊藤圭介ワイズが英文を付けてくださいました。紙面をお借りして、阪和部に出ていただいたみなさんにお礼申し上げます。ありがとうございました。Hanwa district is forever from "Family ties" この英文の主題を、次の1年はワイズメンズクラブ西日本区に、そして次次期は大阪河内クラブに置き換えて、これからも全力投球していきたいと思えます。

今のこの思い、いつも自宅の切り絵の中から語りかけてくださった天国の初田稔さんに捧げます。

宝塚ワイズメンズクラブ

チャーター25周年記念例会

細川佳代子さんをお迎えして

200名を越える方々のご参加



5月25日(土)、宝塚ホテルにおいて宝塚ワイズメンズクラブチャーター25周年記念を祝う例会が開かれた。まず、目に付いたのは200名を越える出席者の賑わいであった。東・西日本区の各クラブから幅広い人々のご出席に加えて、地域での活動がうかがえる関係諸団体の方々や会友として関係をもすばれている多くの人たちが会場を埋められていた。第一部で、演壇に立たれた細川佳代子さんは、日本におけるスペシャルオリンピックス活動の黎明期にワイズメンとの深い関わりの出来た方であり、ワイズメンの中にも多くのファンがいる。細川佳代子さんは、障害者へ心を動かしてゆくことになった発端から日本における障害者の社会環境などに考えを述べられ、今日に至ってまだ尚、先を見据えてボランティア活動を続けて行かれる道を語って下さいました。長野で開催されたスペシャルオリンピックス冬季世界大会の閉会式での細川さんのあの感動的なご挨拶から8年が経ちましたが、障害者を包み込んだ「インクルージョン」の社会構築に向けてワイズダムの活動を加速しなければと感じました。宝塚クラブは、宝塚YMCAのために献身的な奉仕を長く継続されてきたこと、そして今も尚、YMCAのために力を集められることに心を一つにされていることなど、25年間の活動から学ぶべきことの多くをお土産に文化都市・宝塚を後にしました。(報告 丸尾欽造)

YMCAニュース

今年もご協力をよろしくお願いいたします

東北大震災被災地支援発達障害児キャンプ



お振込先：三菱東京UFJ銀行大阪為替集中店
 普通 0230050 公益財団法人大阪YMCA
 *寄付金の税額控除の対象となります。
 大阪YMCA
 06(6441)1123
 大阪市西区土佐堀 1-5-6

～被災地の発達障害の子どもたちと家族に～

ご寄付目標 300万円

非日常が苦手な発達障害の子ども達には、東日本大震災は心身の平穏を大きく乱すものとなりました。震災後2年たってもフラッシュバックをおこしたり、仮設住宅で住む発達障害児やご家族がいるのが現状です。大阪YMCAでは、安心して楽しい時間を過ごすキャンプを過去2年実施、参加者には心から喜んでいただきました。2013年もこのキャンプを実施したいと切望しています。

2011/2012年度参加者より

- ・震災をずっと引きずってしまいましたが、一瞬でもそれを忘れる時間を家族でもてたことに感謝します。
- ・他の家族と寝泊まりしたのは初めての体験でした。子どもの笑顔を見たくて参加しましたが親も笑顔にしてもらいました。
- ・親友は大切。仲間となら何でも頑張れることを知った(子)

お振込先：三菱東京UFJ銀行 大阪為替集中店
 普通 0230050 公益財団法人大阪YMCA
 寄付金の税額控除の対象となります
 大阪YMCA
 06(6441)1123
 大阪市西区土佐堀 1-5-6

サンホームだより 杉村 徹

新しい年度が始まり、はや2ヶ月が経ちました。サンホームにも新人スタッフが入職し、特養に配属されています。利用者の顔と名前を覚えつつ、先輩に業務を教えてもらいながら、一生懸命頑張っています。社会人1年生は、学生の頃とは環境も大きく変化し辛いこともあります。先輩方に支えられながら、じっくりと着実に成長して欲しいものです。

サンホームには毎日多くの利用者の方々が来られ、また、50名の入居者の方もおられます。サンホームで「楽しかったな」「気持ちが楽になったよ」と思っていたただけるように、小さくても、喜びや嬉しさが溢れる場所でありたいと願います。

私たちスタッフは、いつも謙虚に、礎石に記された「受けるよりは与える方が幸いである」の聖書の箇所をいつも心に留めて、奉仕するものでありたいと考えています。

春のリーダートレーニング

5月3日(金)～5月5日(日) 紀泉わいわい村にて、天候に恵まれた中、野外リーダートレーニングを行いました。東YMCA・枚方YMCAのボランティアリーダー19名が参加しました。チームビルディングと野外技術の向上をテーマに3日間楽しみました。今回のメインプログラムは「チームで橋を作ろう!」です。一本の竹と自分たちで見つけてきた材料をつかって、紀泉わいわい村内にある川をわたる橋をつくりました。竹を切ったり、木を縛ったりする体験をしたことがないリーダーたちは、自分たちで竹を切ることに大喜び!頑丈なもの、アスレチック的なもの、一見すると橋に見えないものなどチームそれぞれの個性とチームワークが現れている橋がわいわい村の川に架かり、最後は記念撮影!

若さとパワーにあふれているリーダーたちは、今年度も多くの子どもたちとたくさん体験をします。今年度も応援よろしくお願いいたします。



報告
 東YMCA
 所長 箕浦史郎

5月 例会の余韻

ニコニコ語録集



収録 大谷美佐子

- 丸尾：今日はどうも有難うございました。
- 横田：特技と心の交流をボランティアにつながれて素晴らしい活動をされておられることいつも感心しています。
- 望月：見えないとこに支援して東北は遠い所と感じている、我々のお金はどこにいつているのかわからない現状ですが、身近な人が身近なところに持って行き支援する事は力が入るかなあ。
- 新本：あなたがここに来られるときはいつもほのかな空気が漂っている。みんなが話を集中して聞いているお話が上手です。正野さんが明日大阪YMCAの昇天祈禱会でお話をされます。
- 岩坂：感動に酔わせてもらいました、阪神淡路大震災のとき



神戸北野の風見鶏の大きな切り絵を頂き今も学校の役員室に飾ってあるのを思い出しながら東北のお話を聞かせて頂きました。

- 今井 (大阪なかのしま)：猪瀬さん有難うございました。ご活躍を良く存じあげていたつもりが今日色々聞かせて頂きました。猪瀬さんのご紹介でいちごを購入しました。文楽のすみ太夫さんや 米朝さんと交流があるのでいちごを送りました、いちご農園の方が感激しお電話を下さいました。
- 松岡 (大阪サウス)：支援というのは人と人との繋がりがだと痛感しました。メネットさんには立派な「おりづる」を作って頂き有難うございました。
- 島平：今日は貴重なお話を有難うございました。友達も震災直後東北の番場中山町に入り3か月ぐらゐ居ました、河内クラブの誕生日祝に中山町のマスコットを贈っています。ニートであった彼がボランティアで来た人と結婚しました。何かあるか分からないもので。
- 宮本：素晴らしいこういう支援もあるのだと、お電話で交流されていることも感動です。私も出来ることから頑張っして行きたいとおもっています。
- 猪瀬：今日はお話する機会を与えて頂きまして有難うございます。自分のして来たことが整理でき次にやる事の道に繋がります。
- 藤井：今日は有難うございました。拙い司会で中々思うようす済みません、ご協力を。
- 加藤：前回の池田さんと今日のお話で自分に出来ることをしたいと思います。

- 伊藤：彼は素粒子の博士号を持っています、原子力のことを又勉強させて頂きたいものです。
- 伊藤メ：先生の今までの経験を全部お話頂き首が回らん位注目して聞いていました、孫娘とも子が此のたび結婚しました。お相手の実家が福島いわき市です。東北が身近に感じられるようになりました。
- 中野メ：とっても良いお話を分かりやすく聞かせて頂きました。ささやかですが品物を買いました。
- 新本メ：どうも有難うございました
- 丸尾メ：東北の支援への繋がりの素晴らしさ、身を以て教えて頂きました。
- 望月メ：先生の立派なお働きに頭が下がる思いです。私は観光にちょこっと行ったのですが。
- 大藪メ：貴重なお話を有難うございました。国語辞典など家に置いたままのが支援になるなんて夢にも思わなかった。本も大切に綺麗に残して置きたい気持ちで一杯です。

■中野、■佐古、■初田メ、■大谷の方々の収録が出来ていませんでした。申し訳ございません。

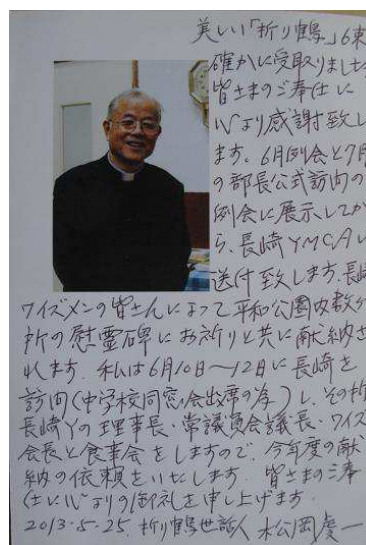
本日のニコニコは19,240円でした

メネット会報告

メネット会長 丸尾初子

平和と鎮魂の使者「折り鶴」6基 長崎へ

メネットの皆さんが送り続けている「折り鶴」が、今年も長崎へ届けられます。5月メネット例会で最終的に完成された6基（1基500羽）が、世話人としてお世話下さっている松岡虔一牧師（大阪サウス）の元に託されました。平和への願いと鎮魂の句を添えて、大阪河内クラブ、同メネット会、東YMCA、大阪YMCAサンホームなどそれぞれの名前を記して献上させていただきました。ここ数年、ペンギン折り紙でありましたが、今年から折り鶴に戻りました。丸尾初子メネット会長の元に松岡先生からお礼状のはがきが寄せられましたのでご報告をさせていただきます。



松岡先生からのお礼状 (左) とメネットさん制作の「折り鶴」(右)



シリーズ ロシアのクラブ紹介 ④

YMC "VUDYAVR"

The first Y's Men Club was chartered on May, 11th, 1991 in the center of Kola peninsula in an industrial town Kirovsk. It was started by a small group of intelligent people leading by a city mayor Alexey Tereschenko and supported by Brother Club "Harstad" from Norway. Our aims are charity, help children and elderly citizens, sick and needed people. Our slogan was "Let's care, let's share!" In difficult years of "Perestroyka" when many people didn't get salary there was nothing in the shops, our friends from Norway camp up to us with great help. Due to this humanitarian support from city-dwellers of Harstad, Y's men in Kirovsk could help almost everybody who needed.

Y's men of our club are teachers of secondary and music schools, doctors, engineers and leading specialist of the company "Apatity"



訪ロシア サンクトペテルブルグ
6月11日に出発

“親交をより深く”を頭に置いて、
“遊び心と真面目心”の二つをバランスよく
とって楽しむことができます

伊藤圭介君を団長とするロシア区サンクトペテルブルグ部訪問団は、6月11日関西空港発フィンランド航空にて出発する。今回の訪問は、サンクトペテルブルグにホームステイする5日間で、ロシア区理事オリガ・アザリヤン女史のコールにお応えしての訪問である。

一行は、伊藤圭介・伊藤玲子夫妻、中野義彦・中野涌子夫妻、大谷美佐子さんの5名で、三年ぶりの再会となる。

伊藤団長は、大阪河内クラブの皆さんへ

「8日間の旅ですが、ロシアのワイズメンズの方と“親交をより深く”を頭に置いて、“遊び心と真面目心”の二つをバランスよくとって楽しむことができます」と、語って旅の準備を進めておられた。

旅の安全を祈念し、体調を整えられて存分に交流を深めてこられることを願いながら「沢山の土産話」を期待して送りだすばかりです。

尚、出発及び帰国便は次の通り。

出発：6月11日 10時45分
Fright No. AY0078 FINNAIR
帰国：6月18日 8時55分
AY0077 FINNAIR

Dear Russian Y's men

First of all, we have to say thank you for your invitation.

Our visit to S-Petersburg will bring about closer relations with one another. That is what we do hope.

With this point of view, we visit your Country. And our view will be realized during our stay in S-Petersburg.

Thank you again.

11th June 2013

Osaka Kawachi Y's men's Club
Yoshihiko Nakano Yuko Nakano
Misako Otani
Reiko Itoh Keisuke Itoh

今月の強調月間メッセージ

6月 “ 評価 計画 ”

ワイズメンの満足度が向上しただろうか。クラブ数が増加しただろうか。会員数がいくら増加したか。数値で見える尺度で評価して、次年度の計画につなげよう。

故 成瀬晃三 理事 (名古屋)

会 員 数	19 名
(特別メネット会員数)	1 名
4月例会 会 員 出 席 者	15 名
メイクアップ	1 名
4月 の 出 席 率	84.2 %
ゲスト・ビジター出席数	3 名
メネット・コメント出席数	7 名
例会 出 席 者 総 数	25 名
役員会 出 席 者 数	11 名
4月 延 べ 出 席 者	36 名
4月ニコニコファンド	19,240 円
同 今 期 累 計	199,603 円



2013年6月22日(土) 大会1日目
 11:00 大会受付 名古屋能楽堂
 13:00 大会開会 々
 19:00 懇親会 THE WEST NAGOYA CASTLE
 21:30 フェロウシップアワー 々
 6月23日(日) 大会2日目
 8:00 聖日礼拝 THE WEST NAGOYA CASTLE
 9:00 大会2日目 々
 12:15 閉会 々
 参加登録費 メ ン 20,000 円
 メネット 18,000 円
 出席登録者 宮本桂子、畠平剛志
 正野忠之、横田憲子
 望月 強、宮本善之
 望月治子 以上7名

2013 6 May >> 2013 7 Jun. スケジュール

6月 1日(土)・大阪YMCA創立記念礼拝
 13:00~13:45
 大阪YMCA会館10階チャペル
 奨励: 岩城 聰 牧師
 (日本聖公会川口基督教会)
 14:00~ユースフォーラム
 6月 2日(日)・YMCAサンホーム大掃除
 10:00~13:00
 6月11日(火)・サントペテルブルグ訪問団出発
 関西空港10:45発 FINNAIR
 6月15日(土)・阪和部新旧評議会
 13:00 南YMCA
 6月18日(火)・サントペテルブルグ訪問団帰国
 関西空港 8:55着 FINNAIR
 6月20日(木)・クラブ第一例会 サンホーム
 6月21日(金)・大阪YMCA早天祈禱会
 7:00~8:30
 大阪YMCA会館3階302号室
 朗読劇「走れメロス」
 表コミ演劇部 会費: 300円
 6月22日(土)・西日本区大会 (1日目)
 11:00 大会受付 名古屋能楽堂
 13:00 大会開会 々
 19:00 懇親会 ウエストナゴヤ
 キャッスル
 6月23日(日)・西日本区大会 (2日目)
 8:00 聖日礼拝 ウエストナゴヤ
 12:15 閉 会 々
 6月27日(木)・クラブ役員会
 19:00~21:00 サンホーム
 7月18日(木)・クラブ第一例会
 18:30~20:30 サンホーム
 7月25日(木)・クラブ役員会
 19:00~21:00 サンホーム

Happy Birthday

6月 2日 佐古利子 さん (双子座)
 6月 7日 伊藤玲子 さん (双子座)



Wedding Anniversary

今月は対象者がございません

第38期 2012/2013年 クラブ役員

会 長・宮本 桂子	Yサ・ASF・畠平 剛志
副会長・畠平 剛志	地域奉仕・芳澤 伸之
直前会長・横田 憲子	EMC ・ 大谷美佐子
書 記・田中 惟介	ファンド・佐古 至弘
大谷美佐子	交 流・岩坂 正雄
会 計・中野 義彦	広 報・伊藤 圭介
藤井 敬子	メネット・丸尾 初子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・岩坂 正雄

発行者: 宮本桂子 編集者: 丸尾欽造
 ホームページ: <http://kawachi-ys.org/>